

# MAX

# 取扱説明書

プロ用

このたびは、マックス釘打機エアネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の手扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

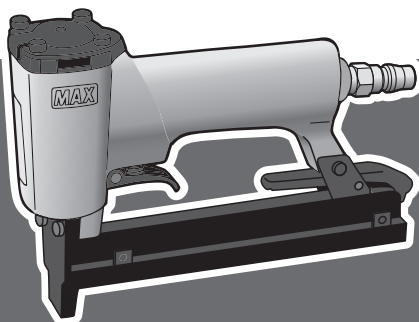
## 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。

この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

マックス釘打機エアネイラ  
TA-20A/1005F  
TA-20A/1010F  
TA-20A/413J  
TA-20A/1013J  
TA-20A/422Jキュウオン

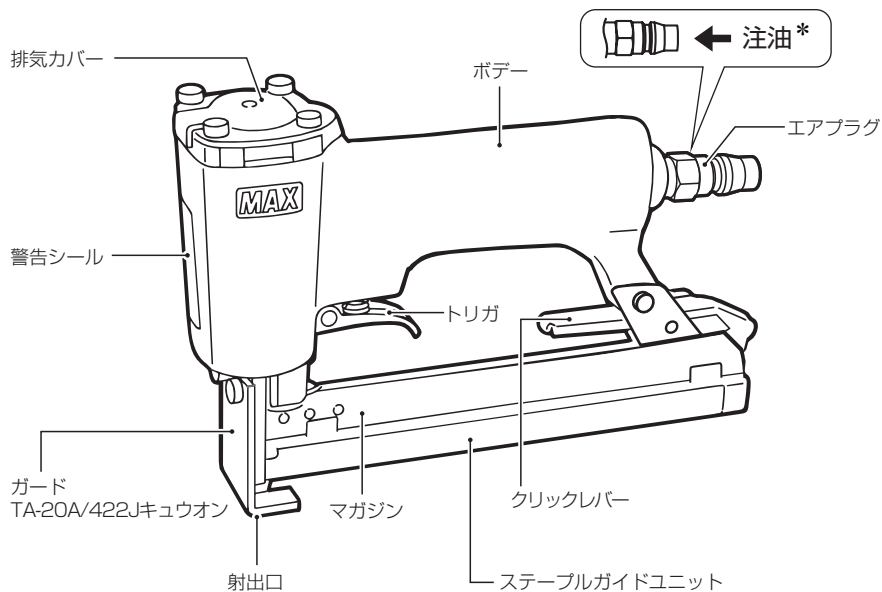


# 目 次

---

各部の名称	3
安全作業のために	4~9
仕様及び付属品	10, 11
使用方法	12, 13
ステーブルの装填方法	12
打ち方	13
排気方向の変え方	13
配管についての注意	14
エアホースの接続	15
打込状態の確認と空気圧	16
ガードについて (TA-20A/422Jキユウオン)	16
ステーブルづまりの直し方 (TA-20A/422Jキユウオン)	17
保守・点検	18
保証、アフターサービスについて	19
保証について	19
アフターサービスについて	19

# 各部の名称



## \* 注油



**注意**

指定オイルを注油する

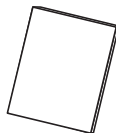


マックス指定オイル  
(別売品)

## 付属品



ジェットオイル(油入)  
※中ぶたを外して使用してください。



取扱説明書



六角棒スパナ4

# ▲ 安全作業のために

本機は、トリガを引くだけでステーブルが発射される機構になっております。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

## ■ 表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**▲ 警告**、**▲ 注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



**警告**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**▲ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 絵表示について



「禁止」を表します。



「必ず行うこと」を表します。

## 作業前

### ▲ 警告

使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

ステーブル打作業をする時、打ち損じのステーブルがはね返り、眼に入ると失明するおそれがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

※保護メガネは別売品で販売しております。お買い求めの販売店、またはマックスエンジニアリングサービス欄までお申し付けください。

防音保護具を着用する。

ステーブル打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 警告

本機使用の際は、マックスエアコンプレッサ、マックスエアホースを必ず使用する。

本機使用に際しては、マックスエアコンプレッサ、マックスエアホースが必ず必要です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと、異常燃焼をおこし、爆発の危険を伴います。

本機を絶対に改造・分解しない。

本機を改造・分解すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

エアホースを接続するときは誤って作動させないように下記のことを厳守する。

- ・トリガに指をかけない。
- ・射出口を人体に向けない。

### 1. エアホース接続前の点検

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

- ・ボルトの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
- ・各部部品が外れていたり、傷んでいないか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。



### 2. エアホース接続時の点検

エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはステーブルを装填しないでエアホースを本機に接続し、下記の確認を必ず行ってください。

- ・エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
- ・エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がある場合は故障しています。そのまま使うと事故や破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

# ⚠ 安全作業のために

作業中

## ⚠ 警告

### 指定ステーブルを必ず使用する。

指定されたステーブルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となります。  
(使用ステーブルは10、11ページ参照)

### 作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だと、つまづくなどして思わぬ事故の原因となります。  
作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

### 使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲で調整し、使用してください。使用圧力範囲を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じるおそれがあります。

### ステーブルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。

### 射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。

また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですから絶対に行わないでください。

同時に打ち損じたステーブルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。



# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 警告

向い合わせのステープル打ちは絶対にしない。

向い合ってステープル打作業をすると、打ち損じたステープルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがあります。



射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、ステープルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険です。

機体の反発に注意する。

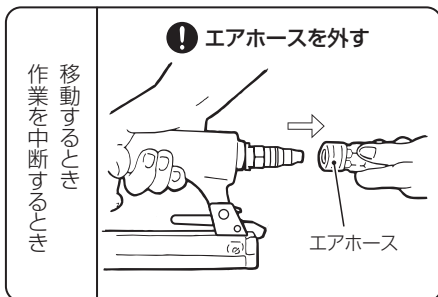
硬い所に打った場合、機体のはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。

揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとステープル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴います。

移動するとき、作業を中断するときは、必ずエアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には、思いがけない事故につながります。また、作業中のステープル装填、調整及びステープルづまりを直すとき、誤ってステープルを発射するおそれがあります。



## ⚠ 安全作業のために

### ⚠ 警告

落下やそれに類する衝撃を機械本体に与えた場合、異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

次のときは、本機を使用しない。

事故の原因になります。

- 疲れているとき、身体が不調なとき。
- 酒類や薬物を飲んで正常な動作ができないとき。

用途にあった作業に使用する。

本機は木材または類似の材料へのステーブル打ち作業を目的とした工具です。指定された用途以外には使用しないでください。

子供を近づけない。

作業者以外、釘打機やエアホースに触れさせないでください。作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

## 作業後

### ⚠ 警告

作業終了時にはエアホースをはずす。

作業終了時には必ずステーブルを抜き取る。

ステーブルをマガジン内に残しておく、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる場合があります。

釘打機は注意深く手入れをする。

安全に能率よく作業していただくために、釘打機は常に手入れをし、清潔に保ってください（18ページ参照）。付属品のお手入れは、取扱説明書に従ってください。

使用しない場合はきちんと保管する。

乾燥した場所で、子供の手の届かない高いところ、または鍵のかかるところに保管してください。



# ⚠ 安全作業のために

## 屋外作業について

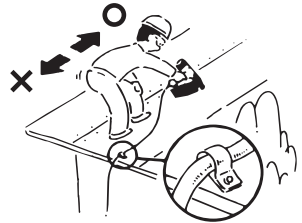
### ⚠ 警告

#### 足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、ステープル打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

#### エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。



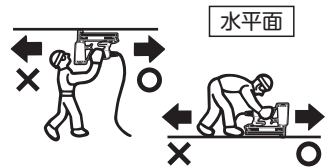
#### 直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

### 打ち方

#### 水平面のステープル打ち

前進姿勢でステープル打ち作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。



#### 垂直面のステープル打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へステープル打作業を行ってください。下から上に打つと足場などに頭をぶつけるなどの危険があります。



#### 傾斜面のステープル打ち

下から上に向かって前進姿勢でステープル打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。



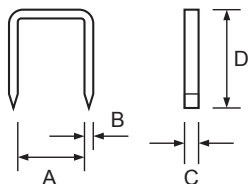
# 仕様及び付属品

商 品 名	マックス釘打機エアネイラ				
商 品 記 号	TA-20A/1005F	TA-20A/1010F	TA-20A/413J	TA-20A/422J キュウオン	TA-20A/1013J
バルブ機構	ヘッドバルブ方式				
ステープル送り機構	プッシュパネ送り方式				
マガジン形式	アンダーローディング方式				
寸 法	(H) 146 × (W) 45 × (L) 203 mm			(H) 145 × (W) 45 × (L) 217 mm	(H) 146 × (W) 45 × (L) 206 mm
重 量	0.9 kg			1.1 kg	0.9 kg
ステープル装填数	157本			100本	
使用空気圧範囲	0.35 ~ 0.7MPa (約3.5 ~ 7kgf/cm <sup>2</sup> )				
使用ホース内径	6mm 以上				
使用オイル	タービン油 1種 ISO VG32 (JIS K 2213)				
付 属 品	六角棒スパナ4、ジェットオイル				
使用ステープル	1003F 1004F 1005F	1007F 1010F	406J 408J 410J 410J-S 413J 413Jシロ 413J-S 416J 416Jシロ 416J-S 419J 419Jシロ 419J-S 419J-Sシロ 422J 422Jシロ 422J-S 422J-Sシロ	410J 410J-S 413J 413Jシロ 413J-S 416J 416Jシロ 416J-S 419J 419Jシロ 419J-S 419J-Sシロ 422J 422Jシロ 422J-S 422J-Sシロ	1006J 1006J-S 1008J 1008J-S 1010J 1010J-S 1010J-AL 1010J-H 1013J 1013J-S

## 注意

- 打込対象物が硬い場合や使用空気圧が低いと適正な打込み状態を得られない場合 (ステープル浮き等) があります。

## 〈ステーブルサイズ〉



- ステーブル記号の末尾のSはステンレス線材です。  
ALはアルミ線材です。  
Hは硬線材です。
- 先端形状はチゼルポイントです。

(単位：mm)

ステーブル	A	B	C	D	先端形状
1003F	10	0.5	0.7	3	
1004F	10	0.5	0.7	4	
1005F	10	0.5	0.7	5	
1006F	10	0.5	0.7	7	
1010F	10	0.5	0.7	10	

(単位：mm)

ステーブル	A	B	C	D	先端形状
216Fシロ	2	0.5	0.7	16	
219Fシロ	2	0.5	0.7	19	
222Fシロ	2	0.5	0.7	22	

(単位：mm)

ステーブル	A	B	C	D	先端形状
406J	4	0.6	1.2	6	
408J	4	0.6	1.2	8	
410J	4	0.6	1.2	10	
410J-S	4	0.6	1.2	10	
413J	4	0.6	1.2	13	
413Jシロ	4	0.6	1.2	13	
413J-S	4	0.6	1.2	13	
416J	4	0.6	1.2	16	
416Jシロ	4	0.6	1.2	16	
416J-S	4	0.6	1.2	16	
419J	4	0.6	1.2	19	
419Jシロ	4	0.6	1.2	19	
419J-S	4	0.6	1.2	19	
419J-Sシロ	4	0.6	1.2	19	
422J	4	0.6	1.2	22	
422Jシロ	4	0.6	1.2	22	
422J-S	4	0.6	1.2	22	
422J-Sシロ	4	0.6	1.2	22	

(単位：mm)

ステーブル	A	B	C	D	先端形状
1006J	10	0.6	1.2	6	
1006J-S	10	0.6	1.2	6	
1008J	10	0.6	1.2	8	
1008J-S	10	0.6	1.2	8	
1010J	10	0.6	1.2	10	
1010J-S	10	0.6	1.2	10	
1010J-AL	10	0.6	1.2	10	
1010J-H	10	0.6	1.2	10	
1013J	10	0.6	1.2	13	
1013J-S	10	0.6	1.2	13	



### 警告

#### ●指定ステーブルを必ず使用する。

指定されたステーブルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となります。

# 使用方法

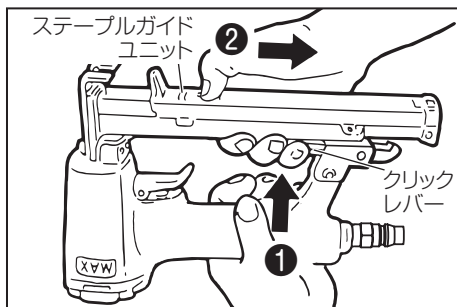
## ステープルの装填方法

### ⚠ 警告

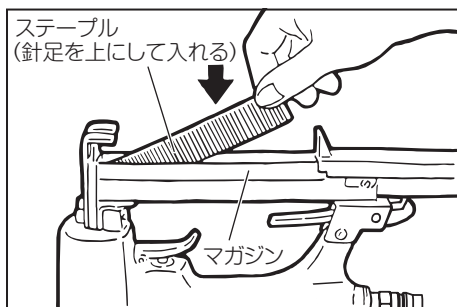
- ステープルを装填するときは、必ずエアホースをはずす。

### 手順

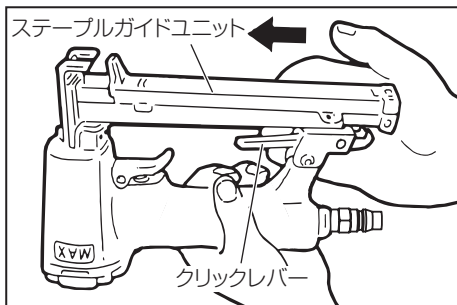
- ①クリックレバーをはずします。
- ②ステープルガイドユニットを引き出します。



- ③ステープルの足を上にしてマガジン内に入れます。



- ④ステープルガイドユニットを押し、クリックレバーを確実にセットします。



## 打ち方

### 警告

●打つとき以外は絶対にトリガに指をかけない。

本機は、トリガを引くだけでステープルが発射されます。ステープルを打ち込むとき以外はトリガに指をかけないでください。誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。ステープルを打ち込むときは射出口を対象物に当ててからトリガを引いてください。

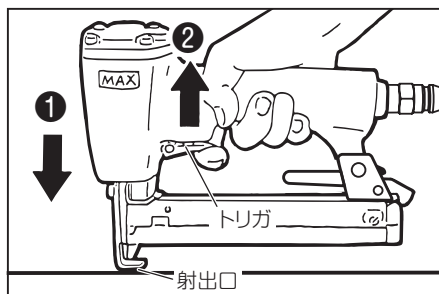
●射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。

また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですから避けてください。同時に打ち損じたステープルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

### 手順

- ①ステープルを打とうとする場所に射出口を当てます。
- ②トリガを引きます。

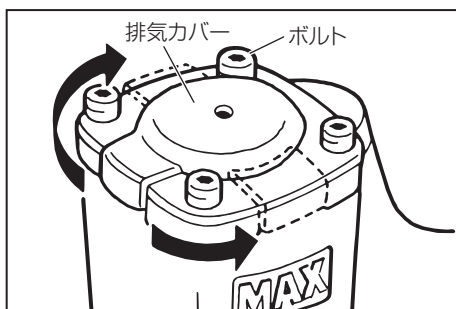


## 排気方向の変え方

### 警告

- 排気方向を変えるときは、必ずエアホースをはずす。

排気方向は作業状況に合わせて、「前」「左」「右」に変えることができます。変更方法は、排気カバーの上についているボルトを付属品の六角棒スパンナ4ではずし、排気カバーの位置を変えます。

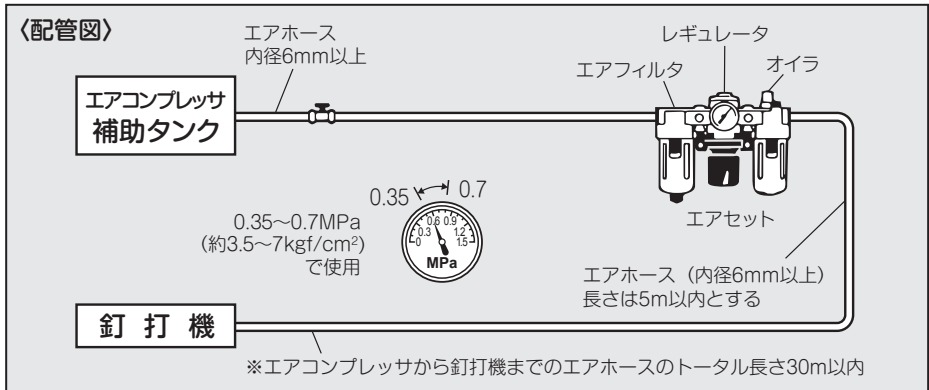


# 配管についての注意

## ⚠ 警告

- 本機使用の際は、マックスエアコンプレッサ、マックスエアホースを必ず使用する。  
使用に際しては、マックスエアコンプレッサ、マックスエアホースが必要です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、マックスエアコンプレッサ、マックスエアホース以外は絶対に使用しないでください。
- 動力源は必ずマックスエアコンプレッサを使用してください。  
高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）等は絶対に使わないでください。
- 接続するエアホースもマックスエアホースを使用してください。

### TA-20Aシリーズ



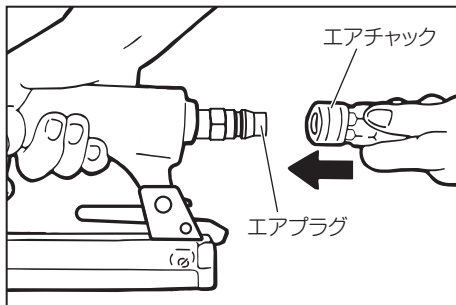
# エアホースの接続

## ⚠ 警告

- エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを厳守する。
  - ・トリガに指をかけない。
  - ・射出口を人体に向けない。

## 手順

- ①エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。



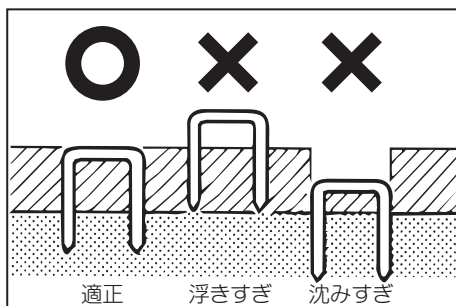
## ⚠ 警告

- 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

# 打込状態の確認と空気圧

## 手順

- 本機を使用する場合、打込対象部材の硬さにより使用空気圧を設定しますが、通常は0.6MPa(約6kgf/cm<sup>2</sup>)に圧力をセットします。作業中ステープル頭が浮いたり、沈みすぎたりした場合は、エアセットのレギュレータでステープル頭が打込対象部材に対し面一になるように圧力調整してください。
- 打込対象部材の硬軟、使用するステープルの長短で多少圧力が違いますので、作業前にテスト打ちを行って圧力調整をしてください。



## 警告

- 使用圧力範囲を超えた圧力では絶対に使用しない。

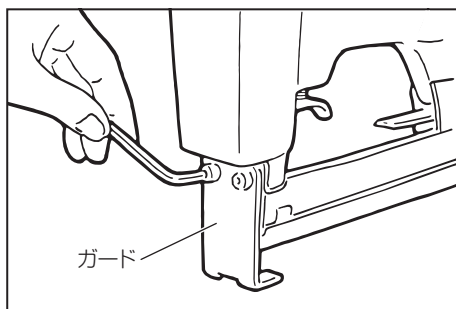
## ガードについて (TA-20A/422Jキュウオン)

### 警告

- ガードの調整・取りはずしの際は、必ずエアホースをはずす。

ガードは、内装ボードにキズを付けないために設けてあります。打ち込みすぎの場合、ガード前面のネジをゆるめて下方に下げると射出口先端より最大2mmまで折りこみ調整ができます。

また、溝等、ガードがじゃまになる場所に打ち込むときはガードをはずしてください。





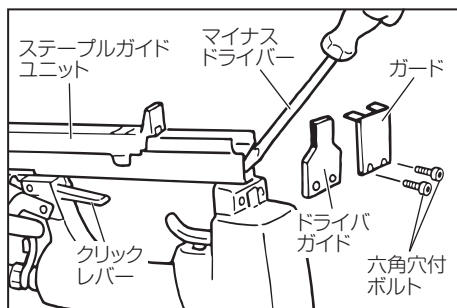
# ステープルづまりの直し方 (TA-20A/422Jキュウオン)

## 警告

- ステープルづまりを直す時は、必ずエアホースをはずす。

## 手順

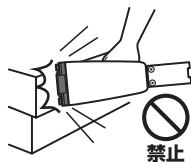
- ①エアホースをはずします。
- ②クリックレバーを外し、ステープルガイドユニットを引き出します。
- ③ステープルをマガジン内より抜き取ります。
- ④マガジン部の六角穴付ボルト2本をはずし、ガード・ドライバガイドを取りはずします。
- ⑤つまったステープルを細い鉄棒やマイナスドライバーで取り除きます。
- ⑥ドライバガイド、ガードをセットして、六角穴付ボルトで固定します。
- ⑦ステープルを入れ、ステープルガイドユニットを押し、クリックレバーを確実にセットします。



# 保守・点検

## 本機を大切に使う

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。



## 繰り返しカラ打ちをしない

ステーブルを装填しないでカラ打ちをくり返し行うと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

## エア圧力を調整し、使用する

打込対象物に合わせ必ず空気圧を調整し、使用してください。

対象物に対して空気圧が高すぎるまま使用しますと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

## 指定オイルを注油する

オイルはタービン油2種ISO VG32 (JIS K 2213) を必ずお使いください。使用前にエアプラグの口より2～3滴、注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



## エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。



## エアコンプレッサのタンク、補助タンクの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンクに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。

## 定期的に清掃する

本機の性能を維持するために清掃を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス(株)までお申し付けください。

## 清掃方法

- ・砂やゴミがついたらエアダスタで飛ばしてください。
- ・トリガの裏もエアダスタで飛ばしてください。
- ・布できれいに拭いてください。

## ピストンリングの点検

ピストンリングは、消耗品です。ドライバがズルズルと落ちてきたら、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス(株)までお申し付けください。

## カラ打ち時の確認

作業中に本機は作動するがステーブルが実際に打ち込まれない場合には、下記の事を点検してください。

- ①コンプレッサの圧力が適正值にセットされているか。
- ②ステーブルがマガジン内でからまっていないか。

上記①②を確認してもカラ打ちが直らない場合には、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

# 保守・点検（つづき）

## 作業後の保管

※作業後はステープルを全部抜き取ってください。

- ・長期間使用しない場合は、さび防止のため、エアプラグから給油し、2,3回空打ちして油を内部に行き渡らせてください。
- ・鉄の部分やバルブの部分には油をうすく塗布してください。
- ・油は、付属の油をご使用ください。
- ・お客様の手の届かない、乾燥した場所に保管してください。

# 保証、アフターサービスについて

## 保証について

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。  
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

## アフターサービスについて

- 本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。  
修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。  
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

●マックスお客様ご相談ダイヤル

☎0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

# マックス株式会社

●販売拠点等

本社	社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札幌支店	支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙台支店	支店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 236-4121
盛岡営業所	営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019) 621-3541
東京支店	支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多摩営業所	営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東関東営業所	営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千葉営業所	営業所	〒260-0831	千葉県千葉市中央区港町16-25	TEL (043) 223-5859
群馬営業所	営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
長野営業所	営業所	〒399-0033	長野県松本市世賀8155	TEL (0263) 26-4377
新潟営業所	営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
名古屋支店	支店	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
静岡営業所	営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
大阪支店	支店	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0253
京滋営業所	営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
神戸営業所	営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-24ハーバースカイビルF	TEL (078) 367-1580
沖縄営業所	営業所	〒901-2132	沖縄県浦添市伊祖2-17-1	TEL (098) 875-3577
広島支店	支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福岡支店	支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
南九州営業所	営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
マックス販売株式会社本社	本社	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5346
埼玉営業所	営業所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
横浜営業所	営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
金沢営業所	営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
岡山営業所	営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
四国営業所	営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
松山営業所	営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL (089) 913-1893

●マックスエンジニアリングサービス㈱

札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 237-0778
新潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京滋サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大阪サービスステーション	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0265
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4101674  
191106-00/01



便利メモ

お名前	商品名 TA-20Aシリーズ
お買い上げ日 年 月 日	製造番号
販売店名	☎